

# Connect-CMS V2

## Xserver インストールマニュアル

(V2 対応版 / HTTPS 前提)

### 前提

- Xserver の初期ドメインにインストールする
- インストール先 URL: `https://USERNAME.xsrv.jp/`
- USERNAME はサーバー ID に置き換えてください
- 事前に Xserver 管理パネルで SSL 証明書 (無料) を有効にしておくこと

**i** Xserver は Let's Encrypt による無料 SSL 証明書が標準で利用できます。  
サーバーパネル → 「SSL 設定」 → 対象ドメインを選択 → 「無料独自 SSL 設定を追加する」  
SSL 有効化後、HTTPS でアクセスできることを確認してからインストールを進めてください。

### V1 からの主な変更点

- △ PHP 8.1 以上が必須 (V1 は PHP 7.3/7.4 対応でしたが V2 では PHP 8.1~8.3 が必要)
- △ Laravel 8 → Laravel 10 へアップグレード
- △ DB の文字コードは utf8mb4 を使用 (V1 の utf8 から変更)
- △ git checkout 時に V2 ブランチ「2」への切り替えが必要
- △ .env の MAIL\_DRIVER → MAIL\_MAILER に名称変更
- △ HTTPS 前提のため APP\_URL を `https://` で設定し `SESSION_SECURE_COOKIE=true` を追加

### データベース作成

Xserver 管理パネルよりデータベースを作成してください。

- DB エンジン: MariaDB 10.5 以上
- 文字コード: UTF-8 (utf8mb4) ※V1 の utf8 から変更
- ユーザ名: USERNAME
- データベース名: USERNAME\_test01
- データベースパスワード: 任意のパスワード

## SSH 接続

---

事前に2段階認証を設定し、SSH接続可能な状態にしてください。

## Connect-CMS インストール用ディレクトリへ移動

---

```
$ cd ~/USERNAME.xsrv.jp
```

## Connect-CMS Clone

---

```
$ git clone https://github.com/opensource-workshop/connect-cms.git
```

## Connect-CMS V2 バージョン指定インストール

---

V1と異なり、V2 ブランチへの切り替えが必要です。

```
$ cd connect-cms

# master ブランチを最新に更新
$ git checkout master
$ git pull

# V2 ブランチ「2」に切り替え
$ git checkout 2

# V2の最新安定版タグに切り替え（現時点: v2.41.1）
$ git checkout $(git describe --tags --abbrev=0)
```

## コマンドライン PHP のバージョン指定

---

V2はPHP 8.1以上が必須です。Xserverで利用可能なPHPバージョンを確認してから設定してください。

### 利用可能な PHP バージョンの確認

```
$ ls /usr/bin/php*
```

### PHP 8.1 を使用する場合の設定例

```
$ mkdir $HOME/bin
$ ln -s /usr/bin/php81 $HOME/bin/php # php8.1 or php81 など環境により異なる
$ vi ~/.bashrc
```

```
# 最下部に追加
export PATH=$HOME/bin:$PATH
$ source ~/.bashrc

# PHP バージョンの確認
$ php -v
PHP 8.1.x ...
```

注意: Xserver のバイナリ名は php81, php82 など年によって変わる場合があります。  
ls /usr/bin/php\* で確認してから設定してください。

## Composer インストール

---

### ディレクトリ移動&確認

```
$ cd ~/USERNAME.xsrv.jp/connect-cms/
$ pwd
/home/USERNAME/USERNAME.xsrv.jp/connect-cms
```

### Composer ダウンロード

```
$ curl -sS https://getcomposer.org/installer | php
All settings correct for using Composer
Downloading...

Composer successfully installed to: .../composer.phar
```

### Composer により Connect-CMS 依存ライブラリのインストール

```
# allow_url_fopen=1 オプションを追加 (Xserver での安定動作のため)
$ php -d allow_url_fopen=1 composer.phar install --no-dev
```

## Connect-CMS 初期設定

---

### .env ファイルの作成

```
$ cp .env.example .env
```

### .env の変更点

以下の項目を環境に合わせて変更してください。

```
# HTTPS 前提のため https:// を指定
APP_URL=https://USERNAME.xsrv.jp
```

```
DB_DATABASE=USERNAME_test01
DB_USERNAME=USERNAME
DB_PASSWORD=*****

# HTTPS用: セッションCookieをセキュア限定にする(コメントアウトを外す)
SESSION_SECURE_COOKIE=true

# V2ではMAIL_DRIVERではなくMAIL_MAILERを使用(変更点)
MAIL_MAILER=smtp
MAIL_HOST=smtp.example.com
MAIL_PORT=587
MAIL_USERNAME=your@example.com
MAIL_PASSWORD=your_password
MAIL_FROM_ADDRESS=your@example.com
MAIL_FROM_NAME="${APP_NAME}"
```

**i** SESSION\_SECURE\_COOKIE=trueを設定すると、HTTPSでのみCookieが送信されます。これによりセッションハイジャックのリスクを防げます。HTTP環境では機能しなくなるため、必ずSSLが有効になってから設定してください。

## APP\_KEYの生成

---

```
$ php artisan key:generate

*****
*      Application In Production!      *
*****

Do you really wish to run this command? (yes/no) [no]:
> yes          ← yesを入力

Application key set successfully.
```

## データベーステーブルの初期構築

---

```
$ php artisan migrate

*****
*      Application In Production!      *
*****

Do you really wish to run this command? (yes/no) [no]:
> yes          ← yesを入力
```

## データベーステーブルへ初期データ追加

---

```
$ php artisan db:seed

*****
*      Application In Production!      *
*****

Do you really wish to run this command? (yes/no) [no]:
> yes          ← yes を入力

Seeding: DefaultPagesTableSeeder
Seeding: DefaultUsersTableSeeder
...
```

## シンボリックリンク作成

---

Xserver では public\_html をドキュメントルートとするため、リネームしてシンボリックリンクを作成します。

```
$ mv /home/USERNAME/USERNAME.xsrv.jp/public_html \
    /home/USERNAME/USERNAME.xsrv.jp/public_html_old

$ ln -s ~/USERNAME.xsrv.jp/connect-cms/public/ \
    ~/USERNAME.xsrv.jp/public_html
```

## サイトにアクセスする

---

```
https://USERNAME.xsrv.jp
```

上記 URL でサイトにアクセスして、トップページが表示されれば成功です。  
ブラウザのアドレスバーに鍵マークが表示されていることを確認してください。

## ログイン

---

初期 ID・パスワードは以下のシーダーファイルを確認してください。

- ・ログイン後は必ず ID とパスワードを変更してください

```
https://github.com/opensource-workshop/connect-cms/blob/master/database/seeder/
DefaultUsersTableSeeder.php
```

## よくあるエラーと対応

---

### PHP バージョン不一致エラー

エラー例: Your PHP version (7.x) does not satisfy requirements.  
対応: PHP 8.1 以上にシンボリックリンクを更新してください。

### git checkout 2 が失敗する場合

```
# git pull でリモートブランチ情報を取得してから実行
$ git checkout master
$ git pull
$ git checkout 2
```

### composer install でエラーが出る場合

```
# allow_url_fopen オプションを付けて実行
$ php -d allow_url_fopen=1 composer.phar install --no-dev
```

### HTTPS 設定後にログインできない場合

SESSION\_SECURE\_COOKIE=true の状態で HTTP アクセスするとセッションが機能しません。  
必ず https:// でアクセスしてください。

## インストール完了

---

以上で、Xserver への Connect-CMS V2 (HTTPS) のインストールは完了です。

- 公式サイト: <https://connect-cms.jp>
- マニュアル: <https://manual.connect-cms.jp/>
- GitHub Wiki: <https://github.com/opensource-workshop/connect-cms/wiki>